

ふりがな 氏 名	いりぐち あい 入口 愛	職 名	講師
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	文章表現法、子どもの言葉、保育内容演習(言葉)、保育内容の理解と方法(言語)		
所 属 学 会	日本児童文学学会中部支部(運営委員平成27年4月～現在に至る)、日本保育学会、日本児童文学学会(運営委員(中部)令和3年12月～現在に至る)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教科書「実践 日本語表現 短大生・大学1年生のためのハンドブック」の作成(桜花学園大学)ナカニシヤ出版 ISBN: 978-4-7795-1174-5	平成 29 年 5 月	編集:松浦照子 著者:松浦照子、 <u>入口愛</u> 、大竹志保美、久木田恵、小出祥子、長澤理恵 担当:全 149 ページ中、第 1 章 3 節「聴く」ことを意識する(p.8-11)、第 3 章 4 節「引用する」(p.65-70)、第 5 章 1 節「書誌事項を知る」(p.81-83)、第7章1節「話しことばの敬語」(p.101-116)、資料②「ポスターを制作する(私のおすすめ本)」(p.143)の計 30 ページを執筆。 本書は、大学の初年次における言語表現スキルの習得と社会で通用するコミュニケーション力を養うことを目的として作成したテキストである。各章では例文を用いて学生に分かりやすく説明したうえで、練習問題で内容の習得を確認できるような体裁をとっている。
社会に対する関心を高めるため、新聞を利用した授業を実施	平成 31 年 4 月～令和元年 9 月	令和元年度名古屋女子大学短期大学部保育学科「文章表現法」を受講する学生の社会に対する関心を高めるために、新聞ワーク(学生が新聞記事を1つ選び、その記事に関する読解問題および語彙問題を作成し、クラス全員が問題を解く)を取り入れた。
保育現場における実践力を高めるため、グループワークを取り入れた授業を実施	平成 29 年 4 月～平成 31 年 4 月 平成 31 年 4 月～	平成 29 年度文学部児童教育学科児童教育学専攻「幼児の言葉(指導法)」、幼児保育学専攻「保育の表現技術 I (言語表現)」、平成 31 年名古屋短期大学部保育学科「保育内容の理解と方法(言語)」、「保育内容演習(言葉)」を受講する学生が保育現場で実践的な活動ができる目的で、グループワークを用いて絵本や紙芝居等の実践を実施している

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	<p>実践 日本語表現 短大生・大学1年生のためのハンドブック (ISBN: 978-4-7795-1174-5)</p> <p>教職・保育職シリーズ 5 教育・保育の新視点 (ISBN978-4-86487-845-6)</p> <p>教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3 (ISBN978-4-86487-911-8)</p>	共	平成 29 年 5 月	ナカニシヤ出版	<p>集:松浦照子 著者:松浦照子、<u>入口愛</u>、大竹志保美、久木田恵、小出祥子、長澤理恵 担当:全 149 ページ中、第1章3節「「聴く」ことを意識する」(p.8-11)、第3章4節「引用する」(p.65-70)、第5章1節「書誌事項を知る」(p.81-83)、第7章1節「話しことばの敬語」(p.101-116)、資料②「ポスターを制作する(私のおすすめ本)」(p.143)を執筆</p> <p>著者:荒川志津代、市村由貴、伊藤充子、稲木真司、<u>入口愛</u>、大鐘啓伸、小椋郁夫、加藤佳代子、門松愛、國京恵子、倉田梓、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹、高橋哲也、竹内正裕、坪井眞里子、豊永洵子、服部幹雄、早川由美、古田直子、堀由里、眞崎雅子、松下明生、谷田育代、山本忠、吉田文 全 313 ページ中、第3部第5章「子どもの言葉を豊かにする実践を考えるー「幼児の言葉(指導法)」における“かるた”制作からー」(p. 201-210)を執筆</p> <p>著者:荒川志津代、市村由貴、<u>入口愛</u>、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、門松愛、國京恵子、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹、高橋哲也、Douglas Jarrell、竹内正裕、豊永洵子、羽澄直子、服部幹雄、榊川知、村田あゆみ、山本忠、吉川直志、吉田文、吉村智恵子 全 202 ページ中、第3章第4節「保育内容「言葉」における子どもと本をつなぐ取り組みー幼年童話の役割ー」(p.186-192)を執筆</p>
		共	平成 30 年 3 月	三恵社	
		共	平成 30 年 7 月	三恵社	

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論文	学生の作品から見る子どもへの言語表現—ストーリーテリングの実践から—	単	平成29年 10月	名古屋女子大学文学部 児童教育学科『児童教育 論集』第1号	p. 165-170
	領域「言葉」にかかわる具体的な保育を考える—絵本の読み聞かせの部分指導案作成の実践から—	単	平成30年 2月	名古屋女子大学文学部 児童教育学科『教育・保 育モノグラフNo.2学びの 循環』	p. 200-209
	自己と故郷とをめぐる物語—広津和郎「白鳥になつた王女の物語」を読む—	単	令和3年 3月	愛知教育大学大学院国 語教育専攻『国語研究』 第29号	p.23-30
その他 (報告書)	【研究ノート】相馬泰三におけるゴ ーゴリ「鼻」の再創造—「鼻のゆく へ」と「鼻のなくなつた話」	単	平成29年 11月	日本児童文学学会 中部支部『児童文学論 叢』第20号	p. 20-34
	『赤い鳥事典』「広津和郎」	共	平成30年 8月	柏書房	「広津和郎」の項目(p.209)を担当
	【研究発表】「三つの〈鼻〉をめぐっ て—芥川龍之介、宇野浩二、広津 和」	単	令和3年 9月	第96回 日本児童文学 学会 中部例会 研究発 表	